

【令和4年度】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況および効果検証結果

単位:円

実施計画No	事業名	担当課	事業概要および目的	実施内容 ①対象経費および②対象(交付対象者、対象施設等)	成果および効果	経済対策との関係	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(円)					
									国庫補助額	その他財源	交付金充当額	一般財源		
1	粟島汽船水際対策事業	保健福祉課	汽船のりばにおいて検温等を実施することで、新型コロナウイルス感染拡大を防止し、島内へのウイルス流入を阻止する。	①汽船のりばにおける検温等にかかる経費 ・検温及び健康チェック委託料 1,240,000円 4～8月 150,000円×5ヶ月＝750,000円 9～3月 70,000円×7ヶ月＝490,000円 ②粟島汽船	本事業の実施により、島内へのウイルス流入は一定程度阻止することができた。	③-Ⅰ-2. ワクチン接種の促進、検査の環境整備、治療薬の確保	R4.4	R5.3	1,240,000	0	0	1,240,000	0	
2	感染疑い者岩船港隔離事業	保健福祉課	感染の疑いのある方に、岩船港にある宿泊施設を利用してもらうことで、感染拡大の防止および島内へのウイルス流入を阻止する。	①隔離に関する施設リース ・施設リース料 210,000円(70,000円×3か月) ②地方公共団体	感染者発生に備え、隔離施設を確保しておくことにより、感染拡大防止を図った。	③-Ⅰ-3. 感染防止策の徹底	R4.4	R5.3	210,000	0	0	210,000	0	
3	ワクチン運搬補助事業	保健福祉課	島内で実施するワクチンの集団接種に従事する島外医療従事者を確保するため、船便をチャーターし、集団接種を効率よく実施する。	①チャーター便の利用料 ・利用料 300,000円×2回 ②粟島汽船	医療従事者との日程調整等をスムーズに進めることができた。	③-Ⅰ-1. 医療提供体制の強化	R4.4	R5.3	600,000	0	0	600,000	0	
4	感染疑い者搬送事業	保健福祉課	感染疑いのある方が、島外の医療機関を受診するための移動手段を確保する。	①島外の医療機関の受診に要する感染疑い者の搬送経費 ・船内スーパーハウスリース料 191,000円 ②地方公共団体	濃厚接触を避ける目的から、乗客や乗組員の不安解消につながった。	③-Ⅰ-2. ワクチン接種の促進、検査の環境整備、治療薬の確保	R4.4	R5.3	191,000	0	0	191,000	0	
5	電子マネーを活用した経済対策事業	産業振興課	村内の経済活性化およびキャッシュレス化推進のためのキャンペーンを実施し、村内限定で電子決済を行なった際の、費用の一部を負担することで、コロナ禍において減少した誘客の拡大を目指す。	①事業運営費 ・手数料:62,422円 ・販促用消耗品:617,837円 ・運元のための費用:2,080,734円 ・消費税68,007円 ②PayPay株式会社	村内の経済活性化およびキャッシュレス化推進のためのキャンペーンを実施した結果、キャッシュレス化が飛躍的に進み、村内で電子決済を行う店舗が増えた。また、費用の一部を負担することで、利用者の購買意欲を掻き立て、コロナ禍において減少した誘客の拡大につながった。	③-Ⅲ-3. 経済安全保障	R4.4	R5.3	2,829,000	0	0	2,829,000	0	
6	別室勤務推進事業	総合政策室	感染対策を行うため、別室に事務用の電話機器を新たに設置することで、行政機関における新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減を図る。また、感染対策用の備蓄品を新規プレハブへ移動するほか、住民向けの案内を掲示するための非接触型電子掲示板を設置する。	①電話機の新規設置、備蓄品の移動、電子掲示板の設置 ・電話機の設置:2,310,000円 ・備蓄品の移動:990,000円 ・電子掲示板の設置:1,782,000円 ②地方公共団体	感染対策として、別室を設置し、事務用の電話機器を新たに設置することで、行政機関における感染者をゼロに抑えることができた。また、感染対策用の備蓄品を新規プレハブへ移動することで緊急時に備えるとともに、住民向けの案内を電子掲示板にて情報発信することで非接触を徹底し、感染拡大を防ぐことができた。	③-Ⅰ-3. 感染防止策の徹底	R4.6	R5.3	5,082,000	0	0	5,082,000	0	
7	感染対策備品整備事業	保健福祉課 (イ)(ハ)(ニ)	感染対策に必要な備品を購入することで、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ。	①新型コロナウイルス感染症に必要な備品の購入経費 イ)スロープ:168,960円(157,960円×1台+11,000円×1台) ロ)顔認識検温システム(5台):533,280円 ハ)三角コーンセット(1セット):19,000円 ニ)急患対応用 iPad:84,380円 ホ)消耗品(消毒液、ビニール手袋):18,380円 ②地方公共団体	集団接種会場の環境整備や、職員間の連絡体制の向上につながった。	③-Ⅰ-3. 感染防止策の徹底	R4.6	R5.3	824,000	0	0	824,000	0	
		本補助事業を活用し、感染防止用の備品等を購入することで、感染症に対する体制を強化できた。												
8	自宅待機事業	保健福祉課	新型コロナウイルス感染症の影響により自宅待機となった村民に対し、食糧や必要な消耗品を配布することで生活を支援する。	①自宅待機期間中の食糧費、消耗品費 ・食糧費(1,000円×1日×2名)	食料品等の支援により、自宅待機期間中の村民の不安解消につながった。	③-Ⅰ-5. 生活・暮らしへの支援	R4.4	R5.3	2,000	0	0	2,000	0	
9	島外待機補助事業	-	中止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	島内経済活性化事業	産業振興課	観光客が利用する地域クーポンを発行することで、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ村内の経済活動の活性化を図る。	①地域クーポンの発行及び運用にかかる経費 ・事務費4,500,000円 ・印刷製本費200,000円 ・手数料48,000円 ・広告費250,000円 ②粟島観光協会	宿泊や飲食のみならず、移動、物品購入など利用用途を幅広く設定したため、宿泊需要の喚起、消費者の消費意欲への刺激など、あらゆる面で効果が得られた。	③-Ⅲ-3. 経済安全保障	R4.4	R5.3	4,998,000	0	0	4,998,000	0	
11	学校修学旅行感染対策補助事業	教育委員会	公共交通機関を利用せずに貸し切りバスを利用し、新型コロナウイルス感染症対策をしっかり行いながら、修学旅行が実施できるようにする。	①修学旅行で使用するバスの借り上げ料 ・バス賃上料126,000円 ②地方公共団体	本補助事業を活用し、感染リスク低減に取り組むことが出来た。	③-Ⅰ-3. 感染防止策の徹底	R4.6	R5.3	126,000	0	0	126,000	0	
12	ワクチン接種会場照明工事事業	教育委員会	新型コロナウイルスワクチンの接種会場として粟島浦小中学校の体育館を使用しているが、継続してワクチン接種ができるよう、接種会場の照明工事を行う。	①照明工事費 ・粟島浦小中学校体育館LED化改修工事一式 ②地方公共団体	本補助事業を活用し、施設設備を改修することで、感染症に対する体制を強化できた。	③-Ⅰ-3. 感染防止策の徹底	R4.9	R5.3	3,850,000	0	0	3,850,000	0	
13	水産物運搬補助事業	産業振興課	新型コロナウイルス感染症によって経済的影響を受けた水産物の物価高騰対策として、運搬に必要な物品購入のための補助金により支援する。	①水産物運搬補助事業補助金 ・冷凍車(1台) ②粟島浦漁業協同組合	漁港内で冷凍機能付きの水産物運搬業務を要し、当該車両は村内で必要不可欠である。購入・配備後は、断続的に使用され、魚類の販売につながっており、結果、水産物の価格高騰を抑え、消費を促す効果があった。	④-Ⅰ. 原油価格高騰対策	R4.9	R5.3	2,850,000	0	0	2,850,000	0	

14	公園遊具設置事業	産業振興課	新型コロナウイルスの影響により外に出る機会が減った子ども達(保育園児11名及び小学生12名、中学生19名)に、外で遊ぶ場を提供する。	①遊具購入設置費 ・内浦地区三角公園 遊具設置 一式 ②地方公共団体	島内は遊ぶ場所が限られており、特にコロナ禍では子どもたちが遊ぶ機会が減っていたが、公園に遊具を設置したことにより、外で体を動かして遊ぶ機会が増えた。	③-1-5.生活・暮らしへの支援	R4.9	R5.3	11,660,000	0	611,000	11,049,000	0
15	非課税世帯に対する臨時特別給付金	保健福祉課	新型コロナウイルス感染症の影響および原油価格・物価高騰等に直面する生活困難者(非課税世帯)に対し、特別給付金を支給することで、生活を支援する。	①扶助費 ・給付金(1世帯30,000円×40世帯) ②非課税世帯	住民税非課税世帯の生活を支援する取組として、1,200千円を給付しており、生活支援の目的は一定程度果たされた。	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困難者等への支援	R4.9	R4.12	1,200,000	0	0	1,200,000	0
16	物価高騰対策臨時特別給付金	保健福祉課	新型コロナウイルス感染症の影響および原油価格・物価高騰等に直面する村民(対象の課税世帯)に対し、特別給付金を支給することで、生活を支援する。	①扶助費 ・給付金(1世帯30,000円×105世帯) ②課税世帯	村内で生計を立てている、住民税非課税以外の世帯の生活を支援する取組として、3,150千円を給付しており、生活支援の目的は一定程度果たされた。	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困難者等への支援	R4.9	R4.12	3,150,000	0	0	3,150,000	0
17	個人事業主傷病見舞金事業	産業振興課	栗島浦村国民健康保険又は後期高齢者医療保険に加入している個人事業主が新型コロナウイルス感染症に感染等した場合において、疾病見舞金を支給する。	①扶助費 ・傷病見舞金(1人につき50,000円×3人) ②個人事業主	栗島浦村国民健康保険又は後期高齢者医療保険に加入している個人事業主が新型コロナウイルス感染症に感染し、疾病見舞金を支給した。	③-1-5.生活・暮らしへの支援	R4.9	R4.12	150,000	0	0	150,000	0
18	栗島浦村燃油高騰対策事業	総合政策室	新型コロナウイルス感染症の影響による原油価格の高騰により経済影響を村内事業者の経営安定化及び生産性の向上、村民330人の経費削減の措置のために助成する。	①扶助費 ・R4.10/20～R5.3/19までの燃油購入費用の助成 ・使用料計62,954リットル×補助14.8円 ②全村民	本村は、離島ということもあり、本土より燃油価格が高騰しているが、今般の価格高騰により更に値上がり、村民の負担となっている。そのため、購入費用を助成することで、経済的負担を減らし、価格高騰による買い控えを抑えることができた。	④-1. 原油価格高騰対策	R4.10	R5.3	931,720	0	0	931,720	0
計									39,893,720	0	611,000	39,282,720	0